

# びび通信

ワークセンターびび広報紙

## 第12号

2008.12.12

発行

南丹市社会福祉協議会 美山支所

ワークセンターびび

〒601-0751 南丹市美山町島往古瀬8番地

TEL.0771-75-1660 FAX.0771-75-0829

### 第9回 京都府障害者のつどい



## SAORI fashion show



11月26日(水)にガレリアかめおかにて【第9回京都府障害者のつどい】が開催され、その中であじさい園や夕鶴の方と一緒にさをり織りのファッションショーを行いました。モデルに選ばれた6名が、びび利用者の一生懸命織ったさをり織りの衣装を身にまとい、約800人の前でウォーキング。その堂々とした身のこなしに驚いたのと同時に、とても感動しました。素敵なさをり織りを目一杯アピールできたのではないのでしょうか。これからの売上アップを期待したいです。

# 平成20年度「障害者週間」啓発ポスター 及び体験作文コンクール 体験作文の部

## 佳作入賞

堀 祐輔さんの作文が京都府のコンクールで入賞  
しましたのでここに紹介します。

「やれば  
できる」



ワークセンターびび 堀 祐輔

私は、今から二十三年前にこの世に双子として生をうけました。私は弟で生まれたのですが、兄も私も小さかったのですぐに保育器に入れられました。それから退院しました。

しかし、兄の方は普通に成長していくのですが、私は一年が経ち二年経っても兄のように歩けるようにならなかったのです。心配した両親が、私を病院に連れて行きました。検査の結果、両下肢に障がいがある事が判明しそれから私はクラッチ（杖）を使わなければ歩けないという生活がスタートした。

私は、なぜ兄は普通に歩いて自分は歩けないのだらうと思いました。でも、この様な身体で生まれてきたからにはがんばらなければと思いました。毎日つらいリハビリをしました。両親、兄のおかげで皆と同じ幼稚園に通うことができました。卒園してからの事、兄は普通の小学校に入学したのですが、私は学校側が障がいの受け入れが出来ないという事で、皆と同じ学校に入学しなかったけれど養護学校に通う事になったのです。養護学校では、毎朝リハビリをしてから授業を受けました。しかし、私は普通小学校と同じ授業がしたかったので先

生方に頼みなんとか一日3時間ぐらいは小学校と同じ教科書で勉強を習う事ができるようになりました。それでも、まだまだ追いつけなくて養護学校六年間で学習できたのは、小学校3、4年生ぐらいの内容でした。

でも私は、小学校に通いたかったけれど今から思えば、養護学校に行っていなければ今の身体はなかっただろうなと思っています。リハビリをしてもらい、勉強を教えてもらった先生方に感謝しています。

いよいよ中学校にあがる時のこと、私は、養護学校の先生に普通の中学校に通いたいという意志を伝えました。しかし、学校側は今まで養護から普通学校へ行くというケースがなかったらしくどの様に対応すればいいのかわからなかった様です。それでも私の強い意志と両親のおかげで中学校に通えることになったのでとてもうれしかったです。

そして、念願かない中学生生活がスタートした。しかし、大変な事がたくさんありました。一つは、なれない授業です。小学3、4年ぐらいまでの学習しかやっていない私は中学レベルに追いつくのが大変でした。でも、双子の兄がいてくれたのでその兄に教えてもらう事ができなんとか同レベルまで追いつく事ができました。

もう一つは、教室の移動です。特にかいだんの移動です。みんなは、あまり手助けしてくれないので全てを自分でやらなければいけなかったのが苦労しました。

もう一つ、クラブ活動です。これが一番大変でした。しかし、あいつは何もできないと思われるのがイヤだったので皆を見返してやれという気持ちで卓球部に入学しま

した。一日授業を受けた後に部活はしんどかったけれど何とか3年間続ける事ができました。

また、自分にも自信がついてあれもできる、これもできるんだというふうに色々な事をやりました。

時には言葉でのいじめを受け学校へいきたくない時もありました。でも、高校に行きたい気持ちがあったのでこんな事で負けてたまるかと思い休まずがんばりました。

いろんな事があつたけれどがんばったおかげで高校にも入学する事ができました。

高校生活は、中学の時にいろんな経験をさせてもらったのでスムーズに楽しい3年間を過ごす事ができました。それもこれも、両親や兄、支えて下さった先生方のおかげだなと思います。ありがとございました。

私は、障がいを持っていても皆と同じ生活ができるんだという事をたくさんの人に知ってほしいなと思います。そして障がい者に対してもっと理解してほしいです。障がいがあるからあの人はできないんだと思わずに、どうすればあの人はできるようになるんだらうという気持ちを皆に持つてほしいなと思います。また、どうすれば障がい者が生活しやすい環境がくれるのかという事を。

最後に、障がいがあっても皆と同じ事ができるという自信を私と同じ障がいを持った人達にも持つて欲しいです。それが私の一番伝えたい事です。この世に生まれた人間は皆同じ人間なので協力しあつてがんばりましょう。



さをり売り上げ  
TOP 5

先日、育成苑まつりとふるさと  
まつりにて、自主製品の販売を  
行いました。  
そのときの売上ランキングです！

- 1位 マグネット
- 2位 キーホルダー
- 3位 ティッシュケース
- 4位 ペットボトル入れ
- 5位 ポーチ

総売上は73,120円。1位は新商品のマ  
グネットでした。さをりの布を使ったく  
るみボタンに磁石のついたこの商品は1個  
50円で販売しています。とても可愛いの  
でちょっとしたプレゼントに最適です。

大分県民センターに  
参加させていただきます

日時 / 毎月第2水曜日  
12:00 ~ 13:00

場所 / 町民センター ホール

参加費 / 250円

交流を目的とした、どなたでも参加で  
きる昼食会です。毎月楽しい時間を過  
ごしています。お気軽にどうぞ！



ひよし水の杜フェスタ

10月26日(日)に日吉ダム多目的広場にて、ひよし水の杜フェスタが開催されました。ワー  
クセンターびび日吉もテントでコーヒー屋さんの店を出しました。あいにくの雨で例年よりお  
客さんが少なく残念でしたが、皆声を出して呼び込みに頑張ってくれました。お陰様で売り上  
げは、94,480円。お客さんとの会話も楽しかったらしく来年もお店に出たいとの感想でした。  
地域の人と出会えたい日となりました。



秋の企画事業・・・海釣りとバーベキュー

10月3日、秋の企画事業で舞鶴に海釣りに行きました。夏に  
企画で延期になっていた念願の釣りが出来てとっても嬉しそう  
でした。肝心の魚はあまり釣れなかったけど・・・。

お天気にも恵まれてお腹もふくれた1日  
でした。



ワークセンターびびを利用されている皆さんの作品を紹介します！

## びびの窓



日吉分所 湯浅 学 さん



美山本所 木戸 邦子 さん



## 太鼓でサイコー！

### やすらぎまつりで和太鼓披露

10月18日(土)、美山やすらぎホームでやすらぎふれあいまつりが開催され、ワークセンターびびも和太鼓演奏で出演しました。オープニングという大役にもかかわらず日頃の練習の成果が発揮できました。力強い演奏を披露でき、しかもアンコールの拍手まで頂き、とっても嬉しそうでした。この日はいつになく暑い日でしたが皆の心に残るとても熱い1日となりました。



## このごろ思うこと

### 施設長雑感

竹内 晶

いよいよ寒くなってきましたが、皆様にはお変わりないでしょうか。

12月6・7日ATACカンファレンスに参加してきました。このカンファレンスは、コミュニケーション支援を中心に障害者支援について広めていくために毎年開催されています。数十のセミナーが平行して開催され、参加者は自分で選択して参加します。

私はやはり重度知的障害や自閉症者に対するコミュニケーションスキルを磨くため「コミュニケーションの意欲を引き出す技法」や「コミュニケーションシンボル導入の技法」「コミュニケーションエンジンアリング」などを中心に回りました。途中で息抜きに「社会学から見た障害・現代社会のフエアネス」

も聞きました。少し面白かったのは、障害児に対する養育について、家族内でのジェンダー規範の問題だけでなく、家族によってケアされるべきだと言う社会的規範への疑問や、子供の成長にとって親との閉鎖的な相互作用も問題にしていた。育児に対する親のかかわりも、時代の変化とともに共同体としての家族の役割も変わるし、社会の責任も代わるべきだと思いました。

コミュニケーション技術については目からうろこの連続です。逆に言えば、知らずにおこなう支援は何も解決できないし、障害を持つ人たちに不利益さえもたらすんだとつくづく思いました。福祉とは、援助技術の総体なんですね。もっともっと勉強しなければと思いました。

さて、今年ももう終わりです。早い1年でした。昨シーズン初めて滑ったスキーですが、とても楽しかったです。今年も期待していますが、忙しいのとお金がありません。わがびびのスタッフには、冬になると元氣なやつがいます。うらやましい限りです。よいお年をお迎えください。